令和８年度第１回　我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会　　議事録

開催日時　令和８年５月 14 日（木）午後２時から午後３時
開催場所　我孫子市役所　議会棟Ａ・Ｂ会議室
出席者　　仲村　信慶、小野　武弘、白水　晃子、松山　光貴、鈴木　友維、寺山　加恵、
関　俊昭、武田　弘恵、大野　令子、星　良子、鉄谷　舞子
地域医療コーディネーター：１名 松宮　泉
国保年金課：１名 田胡主任
事務局：９名 健康福祉部・根本部長　　高齢者支援課 鈴木課長、藤縄主幹、
茅野主幹、山口課長補佐、楠美係長、石川係長、廣瀬総括主査、鈴木主査
傍聴者：なし
司会：我孫子市介護支援専門員連絡協議会 松山　光貴

【議　題】
１．健康福祉部長あいさつ
２．副会長あいさつ
３．新任委員紹介
４．委員紹介
５．令和７年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動報告
(1) 協議会（年２回）
第１回　令和７年５月 15 日（木）午後２時から午後３時 30 分
出席者：委員 14 名、国保年金課１名、事務局 10 名、コーディネーター1 名、
傍聴者０名
議　題：①令和６年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動報告
②令和７年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動計画
③令和８年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会計画について協議
④その他
我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会会長から
国保年金課から

第２回　令和７年 11 月 20 日（木）午後２時から午後３時 30 分
出席者：委員 12 名、国保年金課１名、事務局６名、コーディネーター1 名、
傍聴者１名
議　題：①専門部会からの報告
②令和８年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会計画について協議

(2) 専門部会（年８回）

第1回　令和7年4月23日（水）午後1時30分から4時30分
（天王台地区高齢者なんでも相談室）
出席者：9名
議　題：①令和7年5月15日協議会について、協議会前までにやること
　　②今年度の活動

第2回　令和7年5月21日（水）午後1時30分から2時30分
（天王台地区高齢者なんでも相談室）
出席者：10名
議　題：①事業実施計画と役割分担について
　　②各担当からの報告・検討事項

第3回　令和7年7月9日（水）午後1時30分から2時30分
（天王台地区高齢者なんでも相談室）
出席者：12名
議　題：①各担当からの進捗状況の報告、検討事項
　　②その他　もしバナ実施報告について

第4回　令和7年9月10日（水）午後1時30分から2時30分
（天王台地区高齢者なんでも相談室）
出席者：12名
議　題：①各担当からの進捗状況の報告、検討事項

第5回　令和7年11月12日（水）午後1時30分から午後3時30分
（天王台地区高齢者なんでも相談室）
出席者：11名
議　題：①各担当からの進捗状況の報告、検討事項
　　②第2回在宅医療・介護連携推進協議会について【11/20(木)】
　　③その他　ケアリンクの使用方法の周知等について

第6回　令和8年1月9日（金）午後1時30分から午後3時30分
（天王台地区高齢者なんでも相談室）
出席者：11名
議　題：①次年度に向けた4つの場面に関する話し合い

第7回　令和8年2月12日（木）午後1時30分から午後3時30分

（天王台地区高齢者なんでも相談室）
出席者：12 名
議　題：①各担当からの進捗状況の報告、検討事項
　　②次年度に向けた 4 つの場面に関する話し合い

第 8 回　令和 8 年 3 月 18 日（水）午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分
（天王台地区高齢者なんでも相談室）
出席者：12 名
議　題：①各担当からの報告・検討事項
　　②次年度に向けた検討

(3) 広報あびこ
広報あびこ１１/１号への特集号を掲載。
人生会議とは、佐藤会長からのメッセージ、終活と人生会議の内容、人生会議のきっかけとなるもしバナゲーム、エンディングノート・終活べんり帳、市民講演会について掲載。

(4) 市民講演会
令和 7 年度　我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会　市民講演会
日時：令数 8 年 2 月 17 日（火）午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分
場所：我孫子南近隣センター　ホール
参加人数：参加者数 75 名
講　　演：誰もがここで暮らし、支え合うためのヒント
講　　師：めぐみ在宅クリニック院長
　　一般社団法人エンドオブライフケア協会代表理事　小澤　竹俊　氏

(5) 多職種交流会
日時：令和 7 年 11 月 6 日（木）午後 6 時 30 分から午後 8 時 30 分
場所：オンライン
参加人数：127 名（うち会場 106 名、オンライン 21 名）
テーマ　：救急搬送を取り巻く状況について
　　①我孫子市の救急の現状について（我孫子市消防職員）
　　②トークテーマに沿ったグループでの懇談会

(6) ハンズオンセミナー
テーマ　「誤嚥性肺炎にまつわるあれこれ」

第１回　日時：令和７年 12 月 18 日（水）午後６時から午後８時 30 分
場所：湖北地区公民館（コホミン）　第１学習室
講師：平和台病院　井上医師
参加人数：33 名

第２回　日時：令和８年１月 21 日（火）午後０時 30 分から午後３時
場所：我孫子市生涯学習センター（アビスタ）　ホール
講師：かげやま歯科　仲村歯科医師
参加人数：25 名

(7) ○○先生に会いたい企画
第１回　為本先生に会いたい企画
日時：令和８年３月 13 日（金）午後１時から午後２時
場所：我孫子聖仁会病院
参加者：介護支援専門員　16 名

(8)その他
エンディングノート・終活べんり帳の配布
協定締結先：株式会社　鎌倉新書

令和７年度在宅医療・介護連携推進事業（コーディネーター委託事業）活動報告
(1)活動実績
【相談】
69 件（本年度よりのべ件数ではなく、人数カウントへ変更となったため、前年比なし）
日常の療養支援 81%、入退院支援 13%、急変時の対応 3%、看取り 1%、その他であった。
当初は高齢者なんでも相談室（以下、包括）を窓口にすることを想定していたが、コーディネーターの活動が徐々に周知されてきたこともあり、居宅のケアマネジャーや病院職員、また、まちの保健室活動（後述）から市民からの相談も増加傾向にある。
相談内容は、在宅看取りに移行するにあたり診診連携の調整や、受診先や病院への伝え方、訪問看護ステーションの運営について等、多岐に渡った。

【アウトリーチ】相談・調整・実施状況確認
依頼 10 件　実施９件（前年比＋3 件）
主治医のいない人の主治医意見書に係る医師調整事業であるが、昨年度の利用者が再び利用するケースが出ている。今年度は虐待ケースはなかった。

【研修】企画・運営・評価（一部、支援のみも含む）

① ハンズオンセミナー

テーマ「誤嚥性肺炎にまつわるあれこれ」

講師　：12/18　平和台病院　　井上医師

　　1/21　かげやま歯科　仲村歯科医師　＋各回（株）明治

参加者：12/18　湖北台地区公民館開催　33 名

　　1/21　我孫子地区公民館開催　25 名

本年度は昨年度アンケートを元に、昼、夜と会場ごとで開催時間を変えて実施したが、参加者数に変わりはなかった。

② もしバナゲームを用いた ACP に係る研修

15 回。各包括へ依頼があったものに対し、もしバナマイスターとしてゲームファシリテーションやゲーム前後での ACP にまつわる講話など。

この研修も 3 年目となり、何度も参加して下さる方が出ており、口コミで参加者が拡大している。

③ ○○先生に会いたい！

１回。3/13　我孫子聖仁会病院　為本先生。参加者 16 名（関係者含む）

主にケアマネジャーが普段接する事のない医師と顔の見える関係を作っていくこと、また相互に情報共有方法などの確認を行うなどの機会とすることを目的に実施。

事後アンケートでは８割が満足しており、またこのような機会創出が望まれていた。

④ 市民講演会

2/17（火）

タイトル：「誰もがここで暮らし、支え合うためのヒント」

講師：一般社団法人エンドオブライフケア協会　小澤竹俊先生

会場：我孫子地区南近隣センターホール

地域包括ケアシステムにおける、共助・互助への方策やその考え方をユニバーサル・ホスピスマインドをキーフレーズに講演があった。平日昼間の開催であったが、来場者アンケートでは評価が高いものであった。

⑤ その他

我孫子市介護支援専門員協会研修、我孫子市介護サービス事業者連絡会研修など

【まちの保健室】

月 2 回。アビスタ内カフェプラット。
開催回数 24 回　相談者数約 30 名
包括や障害のまちかど相談室、地域コーディネーター等の市民など、様々な人と共に相談や健診受診などに係る啓発などを行っている。わざわざ市役所や包括に行くまでもないが、相談したいと思っていたことをふらりと立ち寄る場所になっており、民生委員などから紹介されて来所する人もいた。

質問）　もしバナカードゲームの開催について
回答）もしバナカードゲームは、
① 市民団体等から依頼があったときに開催（随時開催）する
② 現時点で決まっているのは、湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室で開催予定。
もしバナカードゲーム自体が目的ではない。
意思決定支援などの話も一緒に行っている。
現在では市民側から依頼が来るようになっている。

6．「令和 8 年度に向けた 4 つの場面に関する検討（活動、担当、評価など）」について報告
(1) 日常の療養支援
ア 目指すべき姿
利用者が情報を得られ必要なサービスを受けることができる
イ 具体的対策
・医療職や病院ソーシャルワーカー、ケアマネ、介護事業所など、顔の見える関係づくりを目的に、多職種交流会を開催する。
(2) 入退院支援
ア 目指すべき姿
自宅療養の体制を整え本人・家族が安心して退院できる
イ 具体的対策
・二次救急の範囲及び市内 5 病院の病院医療職（看護部長など）、病院ソーシャルワーカー、ケアマネなどの、現状や課題について話し合える場を開催する。
(3) 急変時の対応
ア 目指すべき姿
急変時に切れ目のない医療介護を受けることができる
イ 具体的対策
・ACP の推進（もしバナゲーム体験会・市民講演会・在宅医療ハンドブック・ＨＰ）
・R9 作成の安心カード内容について、社会福祉協議会及び消防署職員などと協議する。
・普段から関係機関同士が気軽に会話できる関係性をつくるための場づくりのため、

多職種交流会、〇〇先生に会いたい企画、ハンズオンセミナーを開催する。

・エンディングノート活用の促進

・二次救急の範囲及び市内５病院の病院医療職（看護部長など）、病院ソーシャルワーカー、ケアマネなどの、現状や課題について話し合える場を開催する。

・医療職や病院ソーシャルワーカー、ケアマネ、介護事業所など、顔の見える関係づくりを目的に、多職種交流会を開催する。

(4) 看取り

ｱ 目指すべき姿

それぞれの立場で知るべき知識や情報が得られており、適切な意思決定や体制がとれる

ｲ 具体的対策

・市民講演会、シンポジウム、ワークショップの開催

７．令和８年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動について

(1) 協議会が目指すもの

住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築を推進する。地域の実情を把握・分析したうえで、市民や地域の医療・介護関係者と地域のめざすべき姿等を共有し、協働・連携の推進を目指す。

(2) 今後の方向性

➢ 日常の療養支援

市民が情報を得られ、必要なサービスを受けることができる

➢ 入退院支援

自宅療養の体制を整え、本人・家族が安心して退院できる

➢ 急変時の対応

急変時に切れ目のない医療介護を受けることができる

➢ 看取り

それぞれの立場で知るべき知識や情報が得られており、適切な意思決定や体制がとれる

(3) 令和８年度の活動計画

ｱ 在宅医療・介護連携の推進

(ｱ)協議会開催（年３回開催予定）

現状分析、課題抽出、施策立案について協議を行う。

第１回　令和８年　５月 14 日（木）

第２回　令和８年 10 月 15 日（木）中間評価
第３回　令和９年　２月 18 日（木）年間評価

(ｲ)専門部会の開催（年８回、天王台地区高齢者なんでも相談室にて開催予定）
協議会で協議した内容を実行に移し、PDCA サイクルに沿った取り組みを推進する。
第１回　令和８年　４月 22 日（水）
第２回　令和８年　５月 25 日（月）
第３回　令和８年　７月 ８日（水）
第４回　令和８年　９月 ９日（水）
第５回　令和８年 11 月 10 日（火）
第６回　令和９年　１月 13 日（水）
第７回　令和９年　２月　９日（火）
第８回　令和９年　３月 16 日（火）

(ｳ)「あびこ・ケアりんく」の利用推進
情報の共有・連携を図る手段である「あびこ・ケアりんく」の利用を推進するために、定義とルールの再設定を行い、周知徹底を図る。

ｲ　在宅医療・介護連携に必要な知識の向上
(ｱ)多職種交流会の開催
在宅医療・介護に携わる多様な職種が、共通の認識を持ち、知識や支援の向上を図るとともに、協働と連携を強めることを目的に、交流会を開催する。
令和８年６月 25 日（木）アビスタ
令和８年 11 月 12 日（木）コホミン（仮）開催予定

(ｲ)（新）顔の見える連携会議
入退院支援や日常の療養支援の場面で、現状の困り事の共有や、課題の抽出、連携強化に向けて、医療機関と介護サービス事業者等の双方の職員が話し合う機会を設ける。

(ｳ)ワークショップ、ハンズオンセミナー
市民や医療・介護専門職が在宅療養生活に係る制度やサービス、医療機器や福祉用具を見ながら学ぶ機会を作り、看取りの場面での知識を得られる場を開催する。

(ｴ)〇〇先生に会いたい企画
医師とケアマネジャー、他介護サービス事業者が対話する機会を設け、相互理解や連

携のしやすさの促進を目的に企画開催する。

ｳ　市民への在宅医療・介護の普及啓発

(ｱ)在宅医療・介護に関する市民向け講演会の開催

市民が自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療・介護に関する知見を得られる機会となる市民講演会を開催する。

令和９年２月 11 日（木）　開催予定

(ｲ)在宅療養ハンドブック

市民が自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅療養について考えるきっかけや、制度・サービスなどについて理解を深めることを目的に、ハンドブックを作成する。

(ｳ)「広報あびこ」へ特集号の掲載

市民が自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、将来について考えるきっかけや制度やサービスなどの周知を目的に、広報あびこへ掲載する。

令和８年 11 月 16 日号掲載を要望。

(ｴ)我孫子市ホームページの見直し

在宅医療・介護について、市民や介護サービス事業者などが、必要な情報を検索しやすく、また理解しやすい内容を掲載することを目的に、我孫子市ホームページを見直す。

(ｵ)人生会議（ACP）推進

もしバナカードゲームの体験会等を通じた ACP の啓発や、エンディングノート及び終活べんり帳等の配布を行うことで、終末期に向けて自身の人生を考え、地域資源を活用した意思決定ができるよう支援する。

令和８年度　地域医療コーデイネーター活動計画

目標：在宅医療・介護連携推進事業（以下、事業）および我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会（以下、協議会）における事業を通じて、市民のニーズと市の課題を活動の中から抽出し、課題解決に向けて市や医師会、サービス事業所との協働がなされるよう、在宅医療・介護連携推進協議会専門部会（以下、専門部会）との協業の中で、協議会の目標を達成するような活動を行う。

(1) 相談の実施：適宜　　件数見込み：70 件（相談者および事業者数。）
相談元は、行政や医療機関、介護サービス事業所など多岐に渡る。その相談内容の分析から市の抱える課題を市や協議会などで分析し、解決に向けた方策を検討する。

(2) 課題の抽出および分析：月 1 回
市担当者と当月の課題の抽出および前月までの課題の対応についての話し合いの場を持ち、解決に向けた方策の検討を行う。課題については、専門部会や協議会での検討とすることもある。また、それらの課題を翌年度以降の協議会の計画に反映する事も念頭におき、根拠のある分析を行う。

(3) 協議会および専門部会への参加および実施行事への参画：適宜
課題解決への方策として実施される行事の企画・運営・評価に参加していく。

(4) 在宅医療・介護連携推進事業の理解のための研修企画、運営実施：年 1～2 回
本事業が市民および医療・介護専門職・機関にとって、より効果があるものになるよう、関わる人々の知識を得ていく機会を作る。

８．その他

国保年金課から

国保年金課が在宅医療介護連携推進協議会に参加してから約 3 年が経過。在宅医療・介護連携推進のため、KDB（国保データベース）を活用して地域の課題を共有している。

KDB では、介護認定を受けている方の有病状況の傾向などが抽出できる。令和 7 年度の要介護者では「心臓病」と「筋・骨疾患」が 5 割以上を占め、当市は「脳疾患」「筋・骨疾患」「精神疾患」の割合が比較的高い。

また、地域や地区ごとに健康課題を把握できる指標も簡単に抽出でき、より細かな分析が可能である。

現在、県や大規模な自治体が中心となっている行政による在宅医療のデータ分析についても、当課では他市との意見交換を行いながら、KDB データの活用方法を検討している。

事務局から次回の協議会について連絡

今年度は、「第 10 期介護保険計画　第１１次高齢者保健福祉計画」を策定する年度となる。在宅医療介護連携推進事業について、前回からアンケートの質問項目を増やしており、計画について、協議会の中でご意見をいただくことがあると考えている。

次回、第 2 回在宅医療・介護連携推進協議会は、令和 8 年 10 月 15 日（木）午後 2 時からを予定。